

長崎平和祈念像 一新

竹中銅器 塗り直し作業終了



塗り直し前の1月28日(左)と作業を終えた
今日28日の平和祈念像—長崎市の平和公園

長崎市は28日、原爆の爆心地に近い平和公園で、平和祈念像の19年ぶりの塗り直し作業を全て終えた。像の周りに設けていた高さ約1.5mの柵を撤去。市民や観光客らは、元の青みがかった色を取り戻した像に近づき、手を合わせた写真を撮ったりしていた。

祈念像の塗装が一部剥げ落

ちて白っぽくなったことから、長崎市は、被爆から75年の節目となる2020年を前に塗り直しを決定。今年1月下旬から作業を始め、台座のひび割れなども直した。塗り直しは、竹中銅器(高岡市美幸町)が業務委託を受けて担当した。

大阪市浪速区の小学校講師

で夫と訪れた足利智子さん(37)は、穏やかな表情で像を見つめて「色が明るく、青空に映える。犠牲者と被爆者の心が安らかになることを祈った」と語った。